

設立二十周年記念式典の開催と シルバーふれあいサロン開設

公益社団法人伊佐市シルバー人材センター（鹿児島県）
事務局長 永山 誠

当センターは平成九年四月十四日に、当時の大口市と菱刈町による鹿児島県で初めてとなる広域シルバー人材センター（二市一町）として設

立されました。二十三年四月に公益法人の認可を得て、地域における公益的責務を負う団体として活動を続けています。

その間、設立五周年、十周年、十五周年の周年事業を経て、二十九年三月五日に二十周年の式典を盛大に行いました。節目の式典開催により、会員が理解と融和の中で連携し、誇りをもって活動していくことの再確認と、センター運営に協力いただいた方々へ感謝の意を表することができたと思います。

実行委員会設置

式典準備として、実行委員会規定を定め、二十八年六月に第一回実行委員会を開催。全体の委員長、副委員長を選出すると共に、式典部会、総務部会、記念誌編集部会ごとに部



伊佐市SCでは、平成29年3月5日に設立20周年記念式典を開催。写真右上は、挨拶をする馬門清春理事長

式典の会場入り口では盆栽（写真左）などの会員作品の展示、農産物や加工品の販売（写真下）を行った



交流会では会員の踊りなどで親睦を深めた

長、副部長、部員などを決め、計二十八人で二十周年記念事業実行委員会として運営実施にあたりました。後日それぞれの部会を開催し、作業内容の確認を行いました。

式典前日に会場の机、椅子、横断幕、音響などの準備を行い、当日は会場入り口に会員が作った竹細工、盆栽、絵画などを展示し、農産物や加工品などの販売も行いました。今回は、会員百三十四人、来賓二十人のほか、計百六十二人の参加でした。式典では、物故者への黙祷（もくとう）を行い、

理事長挨拶、祝辞に続き、センター運営に協力いただいた企業、団体、個人、旧会員への感謝状贈呈、事業運営に貢献した会員の表彰を行いました。

式典終了後は交流会を開催し、和やかな中、和太鼓の演奏、会員の踊りやカラオケなどを楽しみ親睦を深めました。最後に大抽選会があり、テレビなどの景品を手にした会員は大喜びでした。

桜の記念植樹

後日、毎周年記念に実施している

今後が増えてくると予想しています。伊佐市は現在人口二万七千人余りの小さな市で、毎年四百人近く減少しています。高齢化と人口減などが影響し、会員の増強が難しい現状の中で、シルバー事業を今後どのような運営していくのが課題となっています。

シルバーふれあいサロンオープン
地域就業機会創出・拡大事業の「健康長寿ふれあい事業」として、高齢者コミュニケーションサロン「シル

バーふれあいサロン」を開設しました。伊佐市商工会と連携し、空き店舗を紹介してもらい、現在は週一回水曜日に開店し、特産品、コーヒー、菓子、焼き芋などをつまみながらの「語らいの場」を提供しています。今後は、事業の中で行う「頭の体操教室」への参加者たちにこのサロンに立ち寄ってもらうこと、また開店日の見直しや就労相談を行いながら、使用頻度を高めていきたいと考えています。

「桜の記念植樹」を伊佐市が管理する忠元公園で行いました。忠元公園は、日本さくら名所百選にも選ばれ、三月下旬から四月上旬にかけて桜が咲きそろう並木道には千数百個のちようちんがともされ、夜桜を楽しむ客でにぎわいます。見物客の呼び込みにも一役買おうと公園内の一角に実行委員で、ソメイヨシノを植樹しました。

また、公益社団法人であることから市民を対象とした「二十周年記念

グラウンドゴルフ大会」を一般百六人、会員二十四人の二十六チームの参加を得て、忠元公園内で開催しました。天気にも恵まれ、会場には歓声と笑い声が響いていました。

派遣事業の伸展

当センターでは近年、就業件数が減っていますが、契約金額は増加しています。請負事業に比べ派遣事業が多くなっており、県知事が指定した場合、週四十時間を上限とする就業が可能となったので、派遣事業は

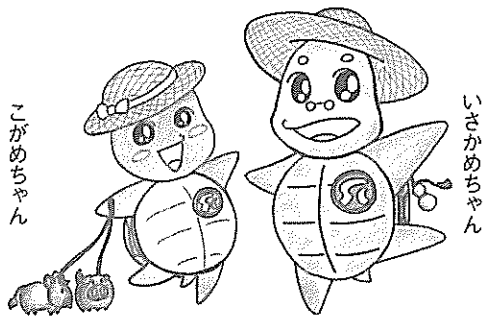


設立二十周年記念として行った「桜の記念植樹（忠元公園）」



空き店舗を活用した「シルバーふれあいサロン」

伊佐市SC イメージキャラクター



デザインは、伊佐市出身の歌手「実愛」さんにお願しました。長寿や堅実な歩みの象徴であるカメをモチーフにしています。

愛称は平成22年に一般公募し、208点の応募の中から選定しました。鹿児島県内のセンターで、キャラクターを定めたのは初めてです。